

第125期（2021年3月期） 定時株主総会

2021年6月25日
グンゼ株式会社

第125期定時株主総会

議 事 次 第 (開始時刻：午後1時)

報告事項

1. 第125期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査役会の
第125期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)
連結計算書類監査結果報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件
- 第3号議案 監査役2名選任の件

第125期定時株主総会 報告事項



I

事業の経過及びその成果

お手許の招集ご通知 **16**ページをご参照

I -1. 第125期（2020年度） 連結業績

（単位：億円 単位未満切捨て）

	第125期 (2020年度)	第124期 (2019年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第125期 (2020年度)	第124期 (2019年度)
売上高	1,236	1,403	△166	△ 11.9	—	—
営業利益	46	67	△20	△ 30.7	3.7	4.8
経常利益	50	68	△17	△ 25.8	4.1	4.9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	21	43	△22	△ 51.1	1.7	3.1

第125期定時株主総会 報告事項



Ⅱ

事業セグメント別の概況

お手許の招集ご通知 **17～18ページ**をご参照

Ⅱ-1. 機能ソリューション事業

■ プラスチック



ナイロンフィルム

■ 電子部品



静電容量タッチパネル付き
液晶モジュール

売上高	:	496億円	(前期比	11.9%減)
営業利益	:	48億円	(前期比	20.7%減)

■ エンジニアリングプラスチック



NET
(フッ素樹脂PFAメッシュ)

■ メディカル



創傷被覆材
PELNAC®
(ペルナック)

II-2. 機能ソリューション事業 1 (プラスチック)

**収縮ラベル用フィルムは外出・イベント自粛により飲料向けが低迷
包装用フィルムは内食需要で好調に推移**

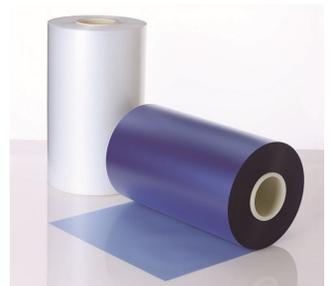
概況	
収縮ラベル用フィルム (シュリンクフィルム)	(国内) 外出・イベント自粛により飲料向けが低迷 (海外) 米国で洗剤や消毒液等向け (トイレタリー) が好調
包装用フィルム (ナイロン・OPPフィルム)	巣ごもり需要により、食品向け (レトルト食品等) が堅調 輸出 (バルーン、電池向け等) が低迷
多層シート (半導体関連)	下期にテレワーク特需 (通信、PC向け) が発生 自動車向けは低迷



■シュリンクフィルム



■OPPフィルム



■多層シート



■ベトナム新工場
(2020年1月操業開始)

II-3. 機能ソリューション事業 2 (エンジニアリングプラスチック)

**半導体市場向け製品は堅調に推移
 オフィス関連向けOA製品は低迷**

概況	
繊維技術活用製品	通信回線増強やIOT (モノのインターネット) の発展にともなうセンサー需要増により、新工場での生産を開始した半導体製造に用いるフィルターが好調
OA (オフィス機器) 向け製品	テレワーク増加によりオフィス事務機(複合機等)向けが低調



■ 新工場棟 (愛知県江南市 2020年4月稼働)
 医療・半導体関連製品製造



■ 半導体製造用フィルター資材

Ⅱ-4. 機能ソリューション事業 3 (電子部品)

既存商品のリピート停滞と新商品の延期により
タッチパネルの販売が減少

概況

タッチパネル	静電容量タッチパネル (PCAP) の販売が、取引先の新規開発案件保留等の影響を受け低調に推移
機能フィルム	テレワーク増加によりパソコン向けフィルム状光学粘着シート (OCA) が堅調



■ 静電容量タッチパネル (PCAP)



■ 機能フィルム (多機能OCA)

II - 5 . 機能ソリューション事業 4 (メディカル)

**外科手術の減少や医療機関への立ち入り制限の影響
はあるものの回復基調**

概況	
縫合補強材	不要不急な手術延期の影響を受け低調に推移
人工皮膚	創傷被覆材ペルナック、米国での販売許可取得 また、米国医療機器大手Misonix (ミソニックス) 社と 米国における独占販売契約を締結
(株)メディカル ユーアンドエイ	<ul style="list-style-type: none"> 国内で初めて超音波式デブリードマン装置 (※) を開発、販売開始 乳房再建術および乳房増大術用のSientra (シエントラ) 社製の ブレスト・インプラント (ゲル充填人工乳房) の薬事承認取得、 販売開始

(※) デブリードマン装置
超音波により微小の気泡を生じさせ、気泡がはじける衝撃波により、
壊死組織や細菌を除去する装置



■ 創傷被覆材
(ペルナック)

※米国での販売名
はセラジェネシス



■ デブリードマン装置
(ウルトラキュレット)



■ Sientra (シエントラ)
ブレスト・インプラント

II-6. アパレル事業

■ インナーウェア



KIREILABO 「Fitte」
(キレイラボ フィッテ)



BODYWILD アウターTシャツ
(ボディワイルド)

売上高 : 626億円 (前期比 9.9%減)
営業利益 : 23億円 (前期比 15.9%減)

■ レッグウェア



BODYWILD ストレッチパンツ
(ボディワイルド)



SABRINA 「Acti-Fit」
(サブリーナ アクティブフィット)



Ⅱ-7. アパレル事業 1 (インナーウェア・レッグウェア)

緊急事態宣言再発令等により店頭販売が不振

- ・インナーウェアはEC、ドラッグストアのチャネル（流通経路）が好調に推移しベーシック商品・レディース商品が伸長
- ・レッグウェアは一部レギンス等が好調に推移するも、外出・イベント自粛によりストッキングの着用機会が大幅に減少

主要トピックス

	カテゴリー	ブランド等	概況
インナー	メンズ	BODYWILD	軽量感を追求したAIRZ新モデル「AIRZ Light（エアーズライト）」やアウターTシャツが好調
		YG	天然素材トレンドに対応した機能綿素材やTシャツ対応インナーが好調
	レディース	KIREILABO	オーガニックコットンを使用した肌にやさしい立体シルエットインナー「Fitte（フィット）」が好調
		Tuché	アウターから見せる、見せない両方のスタイリングを楽しむ「Dress Me（ドレスミー）」を発売 ホームトレンド対応の「ナイトブラ」等のファンデーションが好調
レッグ	レギンス	RIZAP	健康志向の高まりにより、着圧レギンスが好調
	ボトム	BODYWILD	動きやすくてラクな履き心地のストレッチパンツを発売、在宅勤務の増加も影響し好調に推移
	タイツ	Tuché	スニーカーの着用シーンの増加に対するスニーカー専用タイツを開発・発売

Ⅱ-8. アパレル事業2 (インナーウェア・レッグウェア)

緊急事態宣言再発令等により店頭販売が不振

- ・インナーウェアはEC、ドラッグストアのチャネル（流通経路）が好調に推移しベーシック商品・レディス商品が伸長
- ・レッグウェアは一部レギンス等が好調に推移するも、外出・イベント自粛によりストッキングの着用機会が大幅に減少



■ YG HOT-ON COTTON (ワイジー ホットオンコットン)

■ YG Tシャツ対応インナー (ワイジー)



NIGHT

■ Tuché ナイトブラ (トゥシェ)



■ BODYWILD AIRZ Light (ボディワイルド エアーズライト)



■ Tuché Dress Me (トゥシェ ドレスミー)



■ Tuché スニーカー用タイツ (トゥシェ)



■ RIZAP 着圧レギンス (ライザップ)

Ⅱ-9. ライフクリエイト事業

■ 不動産関連



ガンゼタウンセンター つかしん
(兵庫県尼崎市)

売上高 : 119億円 (前期比 19.9%減)
営業利益 : 4億円 (前期比 59.4%減)

■ スポーツクラブ



吹田健都店
(大阪府吹田市)

II-10. ライフクリエイイト事業 1 (不動産開発)

**ショッピングセンター事業は新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により集客が伸び悩み苦戦
 不動産賃貸事業は新規物件が貢献**

概況

ショッピング センター事業	テナント売上、賃料収入とも大きく減少	
	つかしん/湯の華廊	緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用による休業影響を受け苦戦
不動産 賃貸事業	商業施設	新規物件が貢献
	賃貸住宅	社宅を再開発し賃貸物件とした物件が貢献



■ 温浴施設 「湯の華廊」
 (兵庫県尼崎市) つかしん内



■ 商業施設 「あやべぐんゼタウンセンター」
 和食さと2020年7月オープン
 (京都府綾部市)



■ 社宅/賃貸住宅 「マーレ浦安」
 2020年4月賃貸開始
 (千葉県浦安市)

Ⅱ-11. ライフクリエイト事業 2 (スポーツクラブ)

新型コロナウイルス感染症拡大により会員数が大きく減少
再開後の会員の戻りも遅く大きな影響を受ける

概況

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用による
休業、時短営業によって多数の休会・退会が発生し売上が減少

休業、時短営業解除後、フィットネス会員の戻りが遅く苦戦



感染対策の徹底

- ランニングマシンの間に透明シールドを設置



- 受付にアクリルボード設置



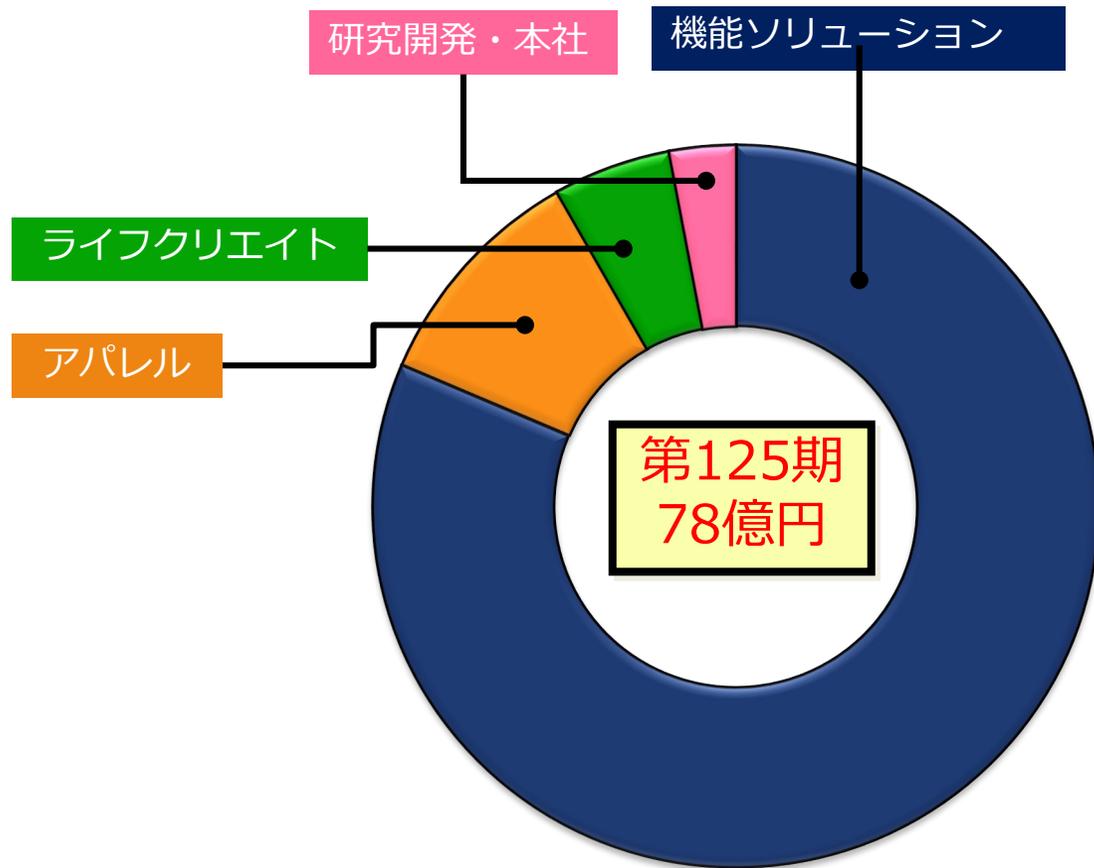
- 非接触AI検温モニター

Ⅱ-12. 第125期（2020年度）セグメント別の業績

（単位：億円 単位未満切捨て）

	売上高				営業利益			
	第125期 (2020 年度)	第124期 (2019 年度)	増減額	増減率 (%)	第125期 (2020 年度)	第124期 (2019 年度)	増減額	増減率 (%)
機能ソリューション	496	563	△66	△11.9	48	61	△12	△20.7
アパレル	626	694	△68	△9.9	23	27	△4	△15.9
ライフクリエイト	119	149	△29	△19.9	4	11	△7	△59.4
全社・消去	△6	△4	△1	-	△29	△33	3	-
合計	1,236	1,403	△166	△11.9	46	67	△20	△30.7

Ⅱ-13. 設備投資の状況



■ 機能ソリューション事業 (63億円)

(プラスチック)

ベトナム新工場設立 30.5億円

(エンジニアリングプラスチック)

国内新工場増設 21.9億円

■ アパレル事業 (8億円)

(インナーウェア)

ベトナム生産設備増設及び効率化 1.9億円

■ ライフクリエイト事業 (4億円)

商業施設整備等

■ 研究開発・本社部門 (2億円)

第125期定時株主総会 報告事項



Ⅲ Ⅳ

計算書類（連結）

お手許の招集ご通知 **39～42ページ**をご参照

Ⅲ-1. 連結貸借対照表 1 (資産の部)

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目		第125期 (2020年度)	第124期 (2019年度)	増減
資産の部	流動資産	720	743	△22
	固定資産	875	922	△47
	有形固定資産	649	679	△29
	無形固定資産	16	17	△1
	投資その他の資産	210	225	△15
資産合計		1,596	1,666	△70

流動資産 (前期比)	
たな卸資産	△19
受取手形及び売掛金	△3
未収入金等その他	△4
現金及び預金	4
有形固定資産 (前期比)	
建設仮勘定 (有形)	△39
機械装置及び運搬具 (純額)	12
投資その他の資産 (前期比)	
繰延税金資産	△18
長期前払費用等その他	2

Ⅲ-2. 連結貸借対照表 2 (負債の部、純資産の部)

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目		第125期 (2020年度)	第124期 (2019年度)	増減
負債の部	流動負債	308	342	△34
	固定負債	135	232	△96
	負債合計	444	574	△130
純資産の部	資本金	260	260	-
	資本剰余金	66	67	△0
	利益剰余金	844	843	1
	自己株式	△69	△67	△1
	その他の包括利益 累計額合計	△28	32	60
	純資産合計	1,151	1,091	60
負債及び純資産合計		1,596	1,666	△70

負債合計 (前期比)	
コマーシャルペーパーを含む借入金	△73
支払手形及び買掛金	△24
退職給付に係る負債	△18
純資産合計	
親会社株主に帰属する当期純利益	21
配当金の支払(124期)	△20
自己株式の取得等	3
その他有価証券評価差額金の増加	49
退職給付に係る調整累計額の増加	13

Ⅲ-3.連結損益計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目	第125期 (2020年度)	第124期 (2019年度)	増減
売上高	1,236	1,403	△166
売上総利益	379	427	△47
販管費	333	360	△27
営業利益	46	67	△20
営業外損益	4	1	2
経常利益	50	68	△17
特別損益	△17	△9	△7
税引前当期純利益	33	58	△25
法人税等	10	13	△3
非支配株主に帰属する 当期純利益	1	1	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	43	△22

営業外損益

当期

受取配当金	4
助成金収入	2
支払利息	△1

前期

受取配当金	5
支払利息	△2
操業準備費用	△1

特別損益

当期

新型コロナウイルス感染症による損失	△9
減損損失	△4
工場移転費用	△1

前期

固定資産処分損益	4
減損損失	△8
工場移転費用	△3

Ⅲ-4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第125期 (2020年度)	第124期 (2019年度)	増減
営業活動	85	136	△50
投資活動	11	△82	94
フリー キャッシュフロー	97	54	43
財務活動	△ 93	△48	△44
現金及び 現金同等物 期末残高	97	92	4

主な営業キャッシュフロー	
税金等調整前当期純利益	33
減価償却費	61
仕入債務の減少	△22
たな卸資産の減少 (△は増加)	17
法人税等の支払額	△13
主な投資キャッシュフロー	
固定資産の取得	△47
投資有価証券の取得	△9
投資有価証券の売却	68
主な財務キャッシュフロー	
配当金の支払	△20
自己株式の取得	△3
コマーシャル・パ-を含む借入金の減少	△69

Ⅲ-5. 連結主要財務・経営指標

	単位	第125期 (2020年度)	第124期 (2019年度)	増減
ROA : 総資産営業利益率	%	2.9	4.0	△1.1
ROE : 自己資本利益率	%	1.9	4.0	△2.1
総資産	億円	1,596	1,666	△70
自己資本	億円	1,135	1,075	59
自己資本比率	%	71.1	64.6	6.5
有利子負債額	億円	176	250	△74
BPS : 1株当たり純資産	円	6,419	6,061	358

ROA : 営業利益 ÷ 総資産

ROE : 当期純利益 ÷ 自己資本

第125期定時株主総会 報告事項



IV

計算書類（単体）

お手許の招集ご通知 **43～44ページ**をご参照

第125期定時株主総会 報告事項



V

中長期的なグループの経営戦略と
対処すべき課題

お手許の招集ご通知 **19～23ページ**をご参照

V-1. 中期経営計画「CAN 20」 基本戦略 1

第1フェーズ			第2フェーズ				
2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年

1年延長



2020年度（125期）主要トピックス

機能ソリューション事業の成長回帰

- メディカル事業の継続的成長（グローバル展開）**
- ・人工皮膚「ペルナック」、米国での販売許可取得
 - ・ Misonix（ミソニックス）社と米国における独占販売契約を締結



アパレル事業の安定的拡大

- レディス分野の拡大**
- ・売れ筋と着ごこちを訴求した商品開発
 - ・コロナ禍による生活様式の変化に対応したECでの販売強化



V-2. 中期経営計画「CAN 20」 基本戦略 2-1



2020年度（125期）主要トピックス

医療・健康事業の拡大

M&A活用による事業領域拡大

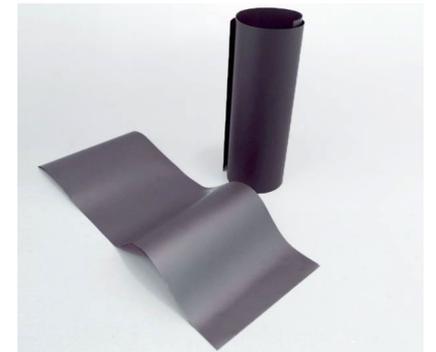
乳がんなどの手術後や肌が敏感になった方のセルフケアをサポートする肌着「メディキュア」を(株)メディカルユアンドエイを通じて皮膚科クリニックで販売開始



新規事業創出の取り組み強化

次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」開発

APB(株)、三洋化成工業(株)との共同開発により、グンゼのフィルム製造技術をベースとした金属集電体を使用しない安全な樹脂集電体の開発に成功

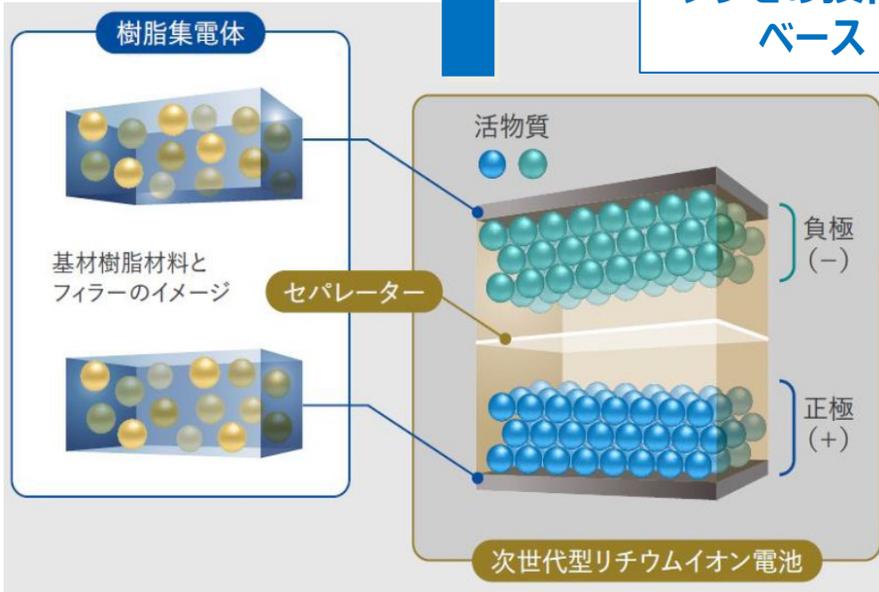


V-3. 中期経営計画「CAN 20」 基本戦略 2-2

次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」

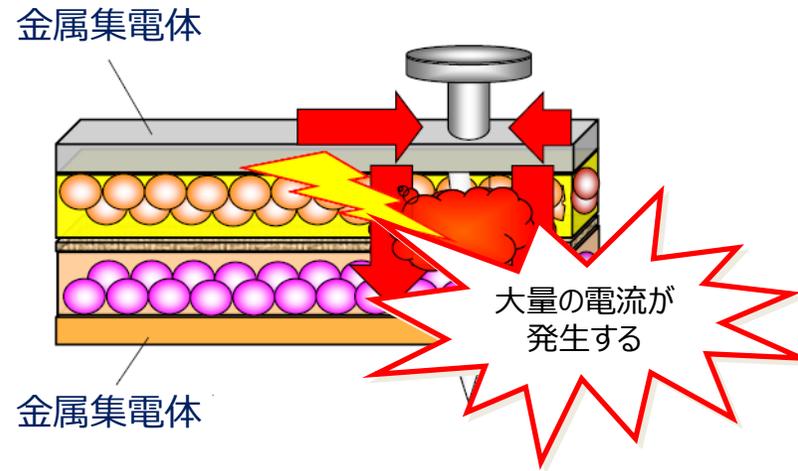


フィルムの導電性を制御する
 グンゼの技術が
 ベース

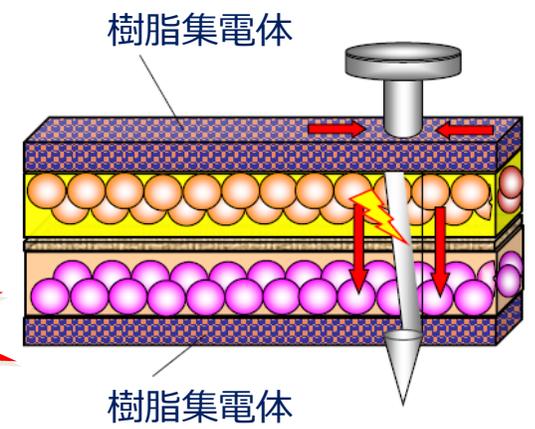


(ポイント)
 金属集電体を使用しない樹脂集電体のため、電線やヒューズが切れて
 短絡 (ショート) した際に大量の電流が流れず安心

従来型リチウムイオン電池



全樹脂電池



高まる電池や蓄電システムの重要性	
IOT技術	電力インフラの高度化
自然災害	緊急時の安全供給
再生可能エネルギー	地球環境への負荷低減

V-4. 中期経営計画「CAN 20」 基本戦略 3



2020年度（125期）主要トピックス

生産基盤の強化による競争力の向上

機能ソリューション

アセアンエリアを中心とするプラスチック収縮フィルム
需要増加に対応するために設立したベトナム新工場の
操業開始（2020年1月）



アパレル

生産対応力・効率を追求したインナーウェア生産拠点の
集約（中国→ベトナム）

経営基盤強化

中長期的な社会課題解決のために取り組むべき事項を
サステナブル重要テーマとして再設定（2021年1月）

V-5. 社会の持続的発展のための目標に対する当社の取り組み

2016年

2020~21年

2030年

2050年

社会

SDGs
(国際目標)

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す (17の目標)



(日本目標)

13 気候変動に
具体的な対策を



カーボンニュートラルによる脱炭素化社会の実現

※SDGs目標No13『気候変動に具体的な対策を』に対する日本の目標

2050年
二酸化炭素
(CO2)
排出ゼロ

当社

国際目標
に対する
取り組み

CSV重要課題設定

CSV : 共有価値の創造

社会課題を解決することによって、
社会価値と経済価値の両方を創造する
次世代の経営モデル

日本目標
に対する
取り組み

2021年1月サステナブル重要テーマ設定

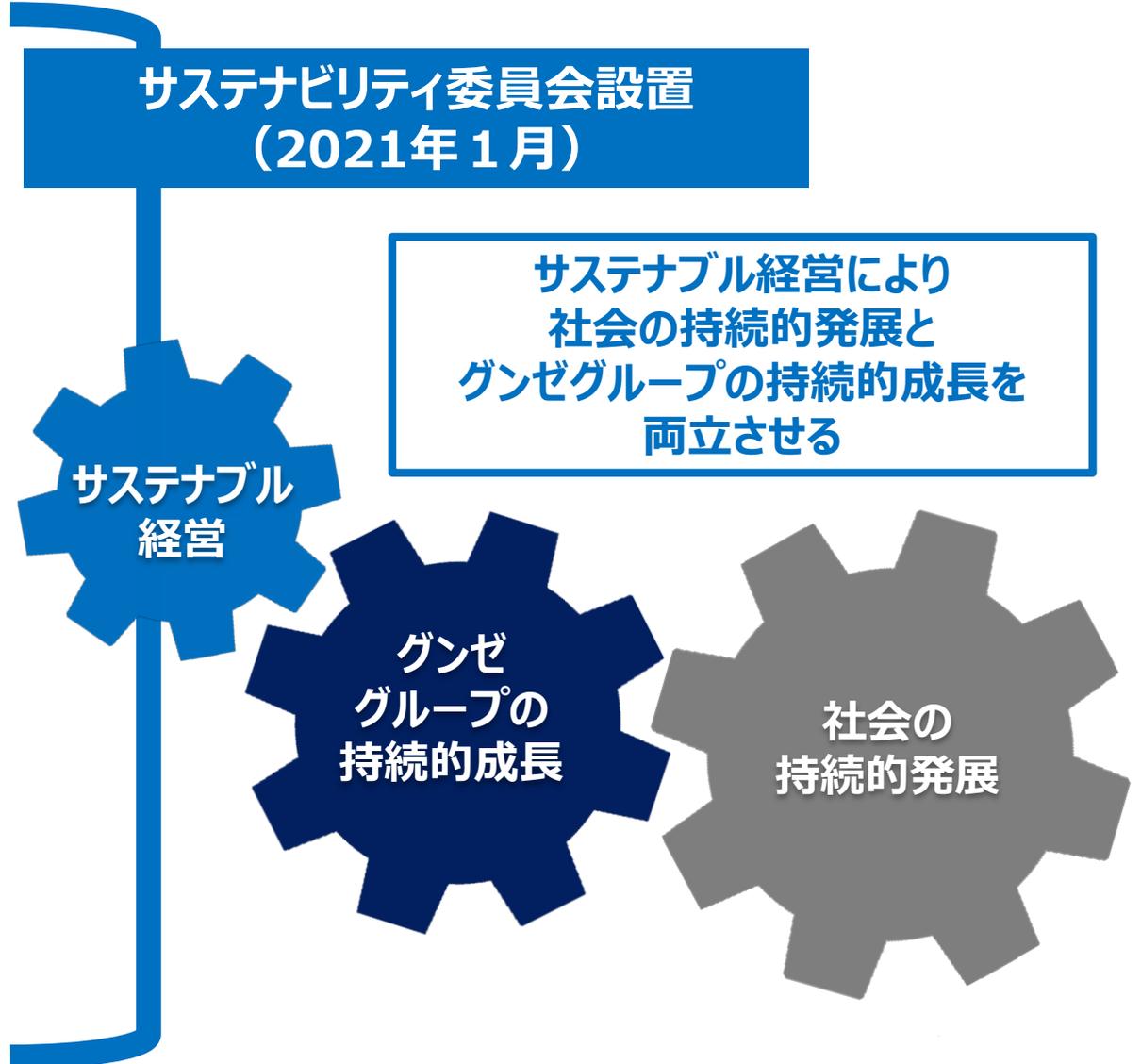
次期中期計画で設定したテーマに対する
2030~50年にかけての目標を設定する (サステナビリティ目標)

V-6. 当社の取り組み（サステナブル経営）

CSV重要課題（国際目標に対する取り組み）	
1	QOLの向上への貢献（健康・福祉への貢献）
2	緑豊かな環境づくりと環境問題対応
3	職場環境改善・働き方改革
4	より良いコミュニティ・社会づくり
5	プラスチック資源循環戦略の推進

サステナブル重要テーマと推進事項（日本目標に対する取り組み）		
1	気候変動への対応	CO2削減
2	資源循環型社会	サーキュラーファクトリー
3	サステナブルな調達	バイオマスプラスチック製品
4	ウェルネス&ヘルス	アパレル健康商品
5	人と社会への配慮	ダイバーシティ&インクルージョン 働き方改革

次期中期計画で具体的施策、数値目標を策定（サステナビリティ目標）



V-7. 取り組み事例紹介 (プラスチック資源循環戦略)

海洋プラスチック問題に対する国際的意識の高まり
使い捨てプラスチックに対する規制強化が加速

2019年

2020~21年

2026年

2030年

2050年

プラスチック資源循環基本方針制定

フィルム
シユリンク



バイオマスプラスチックを約50%
用いた製品開発、市場導入
(石油化学原料使用量削減)

資源循環型工場への転換

フィルム
ナイロン



高機能化製品開発、市場導入
(長期間鮮度保持による
フードロス削減)



(滋賀県守山市)

資源循環型工場(サーキュラーファクトリー)
工場から出る廃プラスチックの再利用
地域自治体から回収した廃プラの再利用

廃プラ
排出ゼロ
CO2削減

ゼロエミッション
の実現

V-8. セグメント別戦略課題 1

1. 機能ソリューション事業

プラスチック資源循環戦略

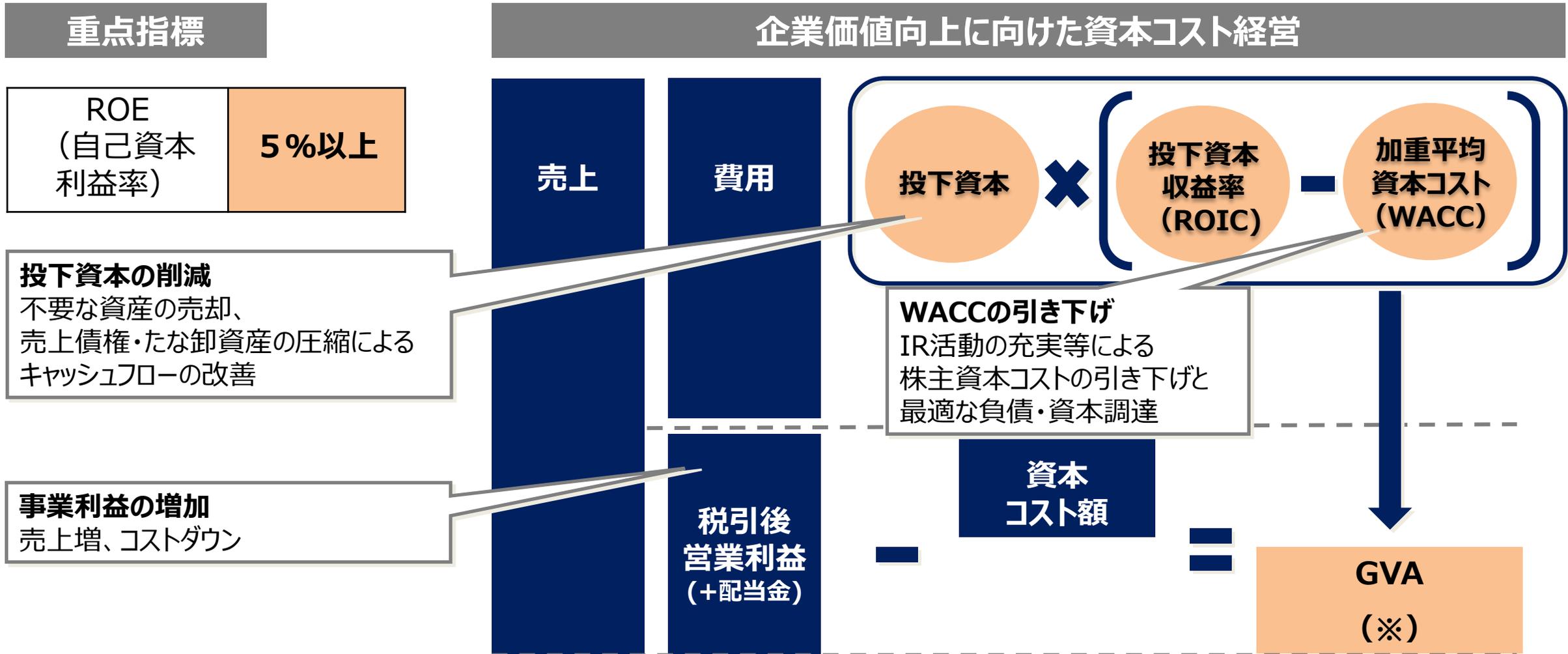
プラスチック	<p>海洋プラスチック問題や食品ロスの削減に寄与する環境対応型新商品の市場投入 サークュラーファクトリー（資源循環型工場）実現に向けたプロジェクト推進</p>
	<p>工場 I o T 化 (※) の強化による生産革新</p> <p>(※) 工場内の設備とパソコンなどをネットワークで接続すること 既に国内工場の一部の製造ラインにて離れた場所からリアルタイムにモニタリングできる仕組みが稼働している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備稼働状況の見える化 ・製造フィルム欠点の見える化（製造されたフィルムの厚み等を読み取り、異常値発生時はアラート通知）
	<p>米国、中国およびアセアンを中心とした海外拡販の強化</p>
エンジニアリング プラスチック	<p>OA向け製品のシェア拡大</p>
	<p>健康・医療関連ならびに産業機器向け製品の拡販</p>
メディカル	<p>米国、中国を中心とした海外拡販の強化</p>
	<p>(株) メディカルユーアンドエイを活用した拡販と次期大型商品の上市</p>

V-9. セグメント別戦略課題 2

2. アパレル事業	
共通	消費者行動変化に伴い伸長加速しているE Cチャネルでの拡販強化 Withコロナに対応したデジタル営業改革の推進
インナーウェア	消費者ニーズ（天然素材回帰、カジュアル化、健康志向）に即した新素材・新商品の投入
	差異化ファンデーションの展開強化を通じてのレディスインナーの強化
レッグウェア	消費者ニーズの変化に基づく市場対応力強化 （レギンス・ボトムカテゴリーの新商品の積極展開）
	最適生産体制によるコスト構造改革の推進

3. ライフクリエイイト事業	
不動産	商業施設の収益力向上
	投資効率を重視した物件別管理の強化
スポーツクラブ	新型コロナウイルス感染拡大対策の徹底
	地域・店舗特性に合わせたサービスの提供

V-10. 重点指標と資本コスト経営



(※) 経済的付加価値指標 (GunzeValue Added)

V-11. 第126期（2021年度）連結業績予想

（単位：億円 単位未満切捨て）

	第126期（2021年度）		第125期（2020年度）		対前期	
	業績予想	利益率(%)	実績	利益率(%)	増減	増減率(%)
売上高	1,350	—	1,236	—	113	9.1
営業利益	80	5.9	46	3.8	33	71.1
経常利益	82	6.0	50	4.1	31	60.9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	56	4.1	21	1.7	34	160.7

第126期(2021年度)配当は、当期より25円増配し、
1株当たり140円を予定しております

第125期定時株主総会



決議事項

お手許の招集ご通知 **6～15ページ**をご参照

第1号議案 (招集ご通知 6 ページ)

剰余金の処分の件

＜期末配当に関する事項＞

連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき
安定的・継続的な利益還元を実施する方針のもと、
第125期の期末配当は下記の通りとさせていただきます。

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき 金115円 総額2,034,199,350円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2021年6月28日

第2号議案 (招集ご通知 7～12ページ)

取締役9名選任の件

取締役候補者			
候補者番号	候補者氏名	候補者番号	候補者氏名
1	廣地 厚	6	赤瀬 康宏
2	佐口 敏康	7	及川 克彦
3	中井 洋恵	8	熊田 誠
4	鯨岡 修	9	河西 亮二
5	木田 理恵		

(注) 中井 洋恵、鯨岡 修 及び 木田 理恵の3氏は社外取締役の候補者です。

第3号議案 (招集ご通知 13～14ページ)

監査役2名選任の件

監査役候補者		
候補者番号	候補者氏名	
1	鈴木	富夫
2	森田	真一郎